

塩竈市が目指す

## ともに学び 時をつなぎ 子供が輝く授業 ～しおがま学びの10の視点～

塩竈市教育委員会

塩竈市が目指す授業を実現するための「10の視点」を以下に示します。これらの視点を踏まえた授業づくりに挑戦し、教師も子供も、ともに学び成長していくことを目指しましょう。

### 視点1 すべての子供の学びを保障

教師も子供も「分からない」を共有し、徹底的に向き合うことで、すべての子供がともに学び合い育ち合う喜びを感じられる授業、一人も独りにならない教室を目指しましょう。

### 視点2 つながりで深める学び

学びは対象だけでなく、他者と自己との出会い・対話です。他者とつながることでより深くより豊かに学ぶことができます。つながれる場と関係づくりを大切にしましょう。

### 視点3 誰にとっても学びやすい環境

ユニバーサルデザインの考えに基づき、様々な特性を有した子供が取り組みやすい環境や授業づくりを心掛けましょう。この考えは個別最適な学びを実現するための基盤となるものです。子供の主体性や多様な学び方が尊重される環境を目指していきましょう。

### 視点4 教科の本質を探究

まず単元等の内容のまとまりに着目して、1単位時間ごとの授業のねらい（すべての子供に身に付けさせたい力）を明確にしましょう。そのねらいを達成するため、教科の本質に基づいた探究的な課題等を吟味するなど、教材研究を深めましょう。

### 視点5 目的に応じた学習形態

学習形態を決める際は、子供の実態や発達段階、授業のねらい等を考慮しましょう。また、いつでも必要に応じてつながれる環境づくりも大切にしましょう。

### 視点6 土台づくりは成長の第一歩

学習習慣の確立や基礎学力の定着は、すべての子供が成長するための第一歩です。家庭学習との連携を図るとともに、授業内でも習熟の活動を取り入れ、「分かった」「できた」を目指しましょう。また、土台となる言語能力の向上に向け、「朗読教育」等にも継続的に取り組みましょう。

### 視点7 学びの道具としての ICT 活用

授業における ICT の活用機会の幅を拡張し、子供が学びの道具として適切に活用できる力を育てていきましょう。また、デジタルとアナログのそれぞれの良さを考え、活用する目的を明確にし、子供の資質・能力の育成に効果的な使い方を考えていきましょう。

### 視点8 教師の支援と子供の学びの振り返り

子供の躓きを予想し手立てを考えた上で授業に臨みましょう。授業では子供に委ねることを基本としつつ、ねらいに照らした教師の役割（見る、教える、調整する等）を適切に選択し、授業後は子供の学びの事実をもとにした振り返りで改善に努めましょう。

### 視点9 自律した学習者の育成

学ぶ楽しさを実感し、対話・協働しながら課題解決に粘り強く取り組む力を高め、自律した学習者へと育てていくため、小・中学校9年間の学びのつながりを大切にしましょう。

### 視点10 塩竈市は魅力ある学習材の宝庫

自然、産業、文化、歴史、そして人等、塩竈市には学習の教材となり得る事象や人材が豊富です。学習において積極的に活用し、郷土愛にあふれた塩竈っ子を育てていきましょう。